

韓国農林畜産食品部プレスリリース 2019年11月29日付

以下、機械翻訳などによる仮訳

京畿道坡州市郡内面のイノシシ弊死体から ASF ウイルス検出
(野生いのしし 31、32 例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbwFmcmElMkY2OCUyRjMyMjE2NCUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTN EJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZwYWdlJT NEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hX cmQIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3clM0QxMCU yNg%3D%3D>

【本文】

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 11 月 29 日、京畿道 (キョンギド) 坡州 (パジュ) 市郡内面 (クンネミョン) 民間制限線内で発見された 2 体の野生いのしし弊死体から ASF ウイルスが検出されたと明らかにした。

○今回陽性として検出された弊死体は環境部所属専門家が 11 月 28 日フェンス点検過程で発見して坡州市 (パジュシ) と国立環境科学院に申告した。

*試料採取・埋却処理後、作業者は消毒、周辺防疫作業実施

○国立環境科学院は 11 月 29 日 ASF ウイルス陽性の確定診断を関係機関に通知した。これで ASF 陽性事例は坡州 (パジュ) で 11 件となり、全国的には 32 件に増えた。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回の弊死体 2 体もフェンスで統制されている地域で発見された”として、“2 次フェンス内の官軍合同捜索は進行中で、弊死体発見と陽性確診事例はさらに増えるだろう”と話した。

(以上)